

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無斷転載禁止

レジメン番号： BRST-143

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
乳がん (PDL-1陽性 TNBC)	adjuvant Pembrolizumab単 剤	下記参照*	下記参照*	<input type="checkbox"/> 進行/再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	軽度	<KEYNOTE-522> N Engl J Med 2020;382:810-821 N Engl J Med 2022;386:556-567

〈注意事項/備考〉

- ✓ Pembrolizumab : 0.2または0.22 μmのインラインフィルターを用いて投与
 - ✓ 間質性肺炎 : 初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを
 - ✓ 血糖上昇 : 口渴、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意。来院時には血糖の測定を
 - ✓ 大腸炎、下痢 : 持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
 - ✓ 甲状腺機能障害 : 投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を

:»

